

改革行動を支援する ICT 活用と情報システム部門の役割

討議テーマ : 情報システム部門の役割について

討議概要 :

まず、2グループメンバー各位が現在感じている情報システムにおける課題や、検討が必要な事項をピックアップし、情報を共有した。続いて、ピックアップした多種多様な課題・検討事項をグルーピングし、それらを解決（もしくは理想を実現）するためには、情報システム部門とユーザー部門でなにが必要なのかを議論した。

システムの導入が進んでいる大学、これから導入を検討している大学とばらつきはあるが、いずれも「システムの目的を明確化すること」「導入後のサポートをしっかりとすること」が必要であるという認識になった。また、情報システム部門がそれらを認識したうえで、「ユーザーの ICT 活用スキルの向上」も必要であるという議論があった。これらを踏まえて、多様化・複雑化する ICT 技術やシステムの導入において、大学にとって最適なシステム導入（部門最適だけでなく、全体最適を考慮した）を主導しサポートしていくことが、これからの情報システム部門の役割である、という結論に至った。

まとめ（プレゼン発表内容） :

■情報システムにおける課題・検討事項

情報インフラ

- ・統合認証システム
- ・Manaba や出席管理システムの導入
- ・BYOD の実現
- ・WiFi 環境（無線 LAN）の構築
- ・グループウェア、文書共有が必要
- ・ペーパーレス会議システムの検討
- ・ゼロクライアントの導入
- ・BCP 対策、外部 ASP への移行
- ・業務システムのパッケージ移行

共有化・一元化

- ・データベースの一元化
- ・部門間の情報共有が少ない
- ・教育系/事務系でシステムが異なり連携されていない
- ・教育研究支援/事務サポート

LMS

- ・教員への自身の授業に対するフィードバックの仕組みを作りたい

ユーザー教育

- ・教職員の IT 活用スキルが低い
(サポートしきれない)
- ・ベンダーの見積りが見えない
- ・教職員の情報リテラシー
(PC、システム、情報と聞くと拒否反応)
- ・情報倫理教育 (どのように、どの程度?)

サービス

- ・ユーザーの利便性
- ・ICT (システム) の導入目的があいまいで、活用されていないものがある
- ・教員・学生への情報提供
- ・学生への連絡手段⇒リアルタイムに連絡
(現状メール。停止が許されない)

■情報システム部門・ユーザー部門に必要な事項

	情報システム部門	→ ユーザー部門
情報システム部門	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の一元管理 ・システムにくわしくない人も判断できるだけの材料／提案資料を提示する ・完成形をイメージし、ユーザーが利用しやすいシステムを作る ・全体的な情報支援体制（サポート）が必要 ・全体的視野を持つ ・ベンダーと利用部門の調整役 ・ICTシステムの必要性は（ユーザーの再確認） 	<ul style="list-style-type: none"> ・わがままを言わないでほしい ・機能の周知、教育、要望を吸い上げる仕組みをつくってほしい ・システムではカバーできない部分に対する対応をしっかりと考えてほしい
↑ ユーザー部門	<ul style="list-style-type: none"> ・システム／情報の案件は必ず相談する ・教職員／学生の IT リテラシーの向上 ・とっつきやすい仕組み／UI を持つシステム ・サポート体制の充実 ・業務を理解して最適なシステム提案をしてほしい ・システム連携、統合システムの構築 ・部門間の情報共有をする ・利用者目線を持つ 	<p>左上：情報システム部門のあるべき姿 右上：ユーザー部門に期待すること 左下：ユーザー部門から情報システム部門に期待すること</p>

以上